

バーデン・ヴュルテンベルク州と観光インフラストラクチャー ——「コンツェルン州」の観光助成——

● 山 田 徹 雄

はじめに

バーデン・ヴュルテンベルク州による産業助成は、(1) 州が直接持分参加するケース、(2) バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社 (Beteiligungsgesellschaft des Landes Baden-Württemberg mbH) を通じて間接参加するケース、(3) バーデン・ヴュルテンベルク州財団有限会社 (Landesstiftung Baden-Württemberg GmbH) を通じて間接的に参加するケースがある。このうち、(1) においては、州が100%出資する場合と、州が持分所有者 (Gesellschafter) や株主 (Aktionär) として関与するケースがある。また、間接的関与の媒体となるバーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社とバーデン・ヴュルテンベルク州財団有限会社に対して州は100%の持分を所有している。ⁱ

本稿においては、観光産業およびその周辺産業に対するバーデン・ヴュルテンベルク州の関与を2009年時点における資本関係と役員派遣を通じて解明する。

筆者の問題意識は、ドイツの地方行政研究において提起されている「コンツェルン都市」の概念を州レベルに敷衍することにある。ⁱⁱ

1. バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社 (Beteiligungsgesellschaft des Landes Baden-Württemberg mbH, Stuttgart)

バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社は、資本金30億ユーロの全額を州政府が出資し、「バーデン・ヴュルテンベルク州の利害において会社持分の購入、管理、売却」を事業目的とする法人である。ⁱⁱⁱ

同社が出資する企業には観光事業との関わりがある企業が多い。([表1] 参照) バーデン州営醸造所ロートハウス株式会社は、1791年ベネディクト派修道院、聖ブラージエン (St. Blasien) によって設立され、1806年にバーデン公国国営醸造所 (Großherzogliche Badische Staatsbrauerei Rothaus) へと移行し、1922年に株式会社化されたシュヴァルツヴァルト有数の地麦酒醸造所である。^{iv}

バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ経営有限会社は、シュトゥットガルト・カジノ有限合資会社 (die Spielbank Stuttgart GmbH & Co. KG) がバーデン・バーデン、コンスタンツに営業認可を得ることによって同州内の3カジノを統合するなかで、2003年に設立された。^v 同社については、「6. 温泉および付属施設」の項において、改めて記す。

州営ギャンブル有限会社は、1948年に設立された「州営スポーツ・トトカルチョ有限会社」(Staatliche Sport-Toto GmbH) を母体とする。^{vi}

[表1] バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社による株式所有・持分参加

持分参加企業	持分比率(%)
バーデン州営醸造所ロートハウス株式会社 (Badische Staatsbrauerei Rothaus AG)	100.00
バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ経営有限会社 (Baden-Württembergische Spielbanken Managementgesellschaft mbH)	100.00
バーデン・ヴュルテンベルク暖房供給有限会社 (FMW-Fernwärmegesellschaft Baden-Württemberg mbH)	100.00
ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニー (Projektgesellschaft Neue Messe GmbH & Co.KG)	45.00
ノイエ・メッセ管理有限プロジェクトカンパニー (Projektgesellschaft Neue Messe Verwaltungs-GmbH)	45.00
州営ギャンブル有限会社 (Staatliche Toto-Lotto GmbH)	100.00

(典拠) BW BTG, p. 191

2. 交通と州政府

2-1. 軌道交通

バーデン・ヴュルテンベルク州が関与する軌道交通は、バーデン・ヴュルテンベルク近距離交通有限会社 (NVMW-Nahverkehrsgesellschaft Baden-Württemberg mbH, Stuttgart)、シュトゥットガルト交通運賃連合 (Verkehrs-und Tarifverbund Stuttgart (VVS))、州立ホーエンツォレルン鉄道株式会社 (HzL Hohenzollerische Landesbahn AG, Sigmaringen)、西南ドイツ交通株式会社 (SWEG Südwestdeutsche Verkehrs-AG, Lahr) の4社である。

2-1-1. バーデン・ヴュルテンベルク近距離交通有限会社

バーデン・ヴュルテンベルク近距離交通有限会社は、資本金52,000ユーロでその持分すべてをバーデン・ヴュルテンベルク州が出資している。^{vii} 同社は、近距離旅客交通が連邦から州に移行することによって、1996年に成立した。^{viii}

監査役会の構成はバーデン・ヴュルテンベルク州内務省、財務省のほか、鉄道ネットワーク地域の市長、郡長が選出されている。([表2] 参照)

[表2] バーデン・ヴュルテンベルク近距離交通有限会社の監査役会構成

監査役会議長 次官ルドルフ・ケベルレ (Staatssekretär Rudolf Köberle MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
監査役会副議長 本省部長ユルゲン・ペツォルト教授 (Ministerialdirigent Prof. Dr. Jürgen Pätzold)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
本省参事官ヴァルター・コルトゥス (Ministerialrat Walter Kortus)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)

市長マルグレット・メルゲン (Bürgermeisterin Margret Mergen)	カールスルーエ市 (Stadt Karlsruhe)
郡長ユルゲン・シュッツ博士 (Landrat Dr. Jürgen Schütz)	ライン＝ネッカー郡 (Rhein-Neckar-Kreis)
市長ユルゲン・ヴェーバー (Bürgermeister Jürgen Weber)	ヘヒンゲン市 (Stadt Hechingen)

(典拠) BW BTG, p. 50

2-1-2. シュトゥットガルト交通運賃連合

シュトゥットガルト交通運賃連合は1978年に結成され、シュトゥットガルト市およびその近隣地域であるペプリンゲン郡、エスリンゲン郡、ルドヴィヒスブルク郡、レムス＝ムール郡を含めた統一運賃連合体である。^{ix}

[表3] シュトゥットガルト交通運賃連合の持分所有比率 (資本金24万8千ユーロ)

持分所有者	持分所有比率(%)
バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	7.50
ドイツ鉄道株式会社 (Deutsche Bahn AG)	19.00
シュトゥットガルト路面電車株式会社 (Stuttgarter Straßenbahn AG)	26.00
シュトゥットガルト地域連合 (Verband Region Stuttgart)	20.00
その他 (Restlicher Gesamtanteil)	17.50

(典拠) BW BTG, p. 60

監査役会はシュトゥットガルト市上級市長が議長を務めるなど、地域の官民の利害が反映される構成をとり、バーデン・ヴュルテンベルク州からは、内務官僚が参加する。([表4] 参照)

[表4] シュトゥットガルト交通運賃連合の監査役会構成

監査役会議長 上級市長ヴォルフガング・シュスター博士 (Oberbürgermeister Dr. Wolfgang Schuster)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
監査役会副議長 経営学士アンドレアス・モシンスキー＝ヴァルト (Dipl.-Betriebswirt Andreas Moschinski-Wald)	シュトゥットガルト路面電車株式会社取締役 (Vorstandmitglied der Stuttgarter Straßenbahn AG)
トマス・アスムス (Thomas Asmus)	シュトゥットガルト路面電車株式会社経営評議会委員 (Betriebsrat Stuttgarter Straßenbahn AG)
経済学士ラインホルト・パウワー (Dipl.-Volkswirt Reinhold Bauer)	シュトゥットガルト路面電車株式会社取締役 (Vorstandmitglied der Stuttgarter Straßenbahn AG)

ロナルト・ボイエーレ (Ronald Bäuerle)	シュトゥットガルト地域連合民法組合 (GbR der Kooperationspartner des Verband Region Stuttgart)
郡長ロラント・ベルンハルト (Landrat Roland Bernhard)	ペプリンゲン郡 (Landkreis Böblingen)
郡長ハインツ・アイニンガー (Landrat Heinz Eininger)	エスリンゲン郡 (Landkreis Esslingen)
ディーター・エッシェナウアー (Dieter Eschenauer)	シュトゥットガルト路面電車株式会社経営評議会委員 (Betriebsrat Stuttgarter Straßenbahn AG)
クラウス・フェルスマン (Klaus Felsmann)	シュトゥットガルト路面電車株式会社経営評議会委員長 (Betriebsratsvorsitzender Stuttgarter Straßenbahn AG)
郡長ヨハネス・フックス (Landrat Johannes Fuchs)	レムス＝ムール郡 (Rems-Murr-Kreis)
ライナー・ガンスケ (Rainer Ganske)	シュトゥットガルト地域連合 (Regionalversammlung Verband Region Stuttgart)
郡長ライナー・ハース博士 (Landrat Dr. Rainer Haas)	ルドヴィヒスブルク郡 (Landkreis Ludwigsburg)
行政学士ギスベルト・ヘッセ (Dipl.-Verwaltungsbetriebswirt Gisbert Hesse)	ドイツ鉄道株式会社ヴュルテンベルク地域経営評議会委員長 (Betriebsratsvorsitzender Regionalbereich Württemberg Deutsche Bahn AG)
商学士ペーター・ヘフリンガー博士 (Dipl.-Kfm. Dr. Peter Höflinger)	シュトゥットガルト路面電車株式会社取締役 (Vorstandsmitglied der Stuttgarter Straßenbahn AG)
執行役員マンフレット・ホフェンユルゲン (Geschäftsführer Manfred Hovenjürgen)	シュトゥットガルト地域バス有限会社 (Regional Bus Stuttgart GmbH)
執行役員ハンス＝アルブレヒト・クラウゼ (Geschäftsführer Hans-Albrecht Krause)	ドイツ鉄道レギオ株式会社 (DB Regio AG)
エルケ・クライザー (Elke Kreiser)	シュトゥットガルト地域連合 (Regionalversammlung Verband Region Stuttgart)
市会議員ライナー・クスマウル教授 (Stadtrat Prof. Dr. Rainer Kußmaul)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
トマス・ライプニッツ (Thomas Leipnitz)	シュトゥットガルト地域連合 (Regionalversammlung Verband Region Stuttgart)
本省参事官フォルクハルト・マリク (Ministerialrat Volkhard Malik)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
本省部長ユルゲン・ペッツォルト教授 (Ministerialdirigent Pro.Dr. Jürgen Pätzold)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
ヨアヒム・プファイファー博士 (Dr. Joachim Pfeiffer)	シュトゥットガルト地域連合 (Regionalversammlung Verband Region Stuttgart)

ラルフ・ウルバン (Ralf Urban)	ドイツ鉄道レギオ株式会社 (DB Regio AG)
市会議員 ヴェルナー・ヴェルフレ (Stadtrat Werner Wölfle)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)

(典拠) BW BTG, p.61-62

2-1-3. 州立ホーエンツォレルン鉄道株式会社

州立ホーエンツォレルン鉄道株式会社は、1890年に設立された「ホーエンツォレルン軽便鉄道株式会社」(Actiengesellschaft Hohenzollerische Keimbahnengesellschaft) に由来する。^{*}

同社はバーデン・ヴュルテンベルク州東南部に123kmの自社路線および430kmにおよぶDB等他社路線に鉄道を運行し、1947年に参入したバス路線は、現在では802kmにおよんでいる。^{xi}

資本金442万ユーロについて、株式の所有状況を [表5] でみると、バーデン・ヴュルテンベルク州が71.93%を所有していることから州立鉄道 (Landesbahn) を称する理由が分かる。その他、路線が存在する地域の自治体であるジグマリンゲン郡、ツォレルンアルプ郡がそれぞれ14.03%の株式を持つ。

[表5] 州立ホーエンツォレルン鉄道株式会社の株主 (資本金442万ユーロ)

株主	株式所有比率 (%)
バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	71.93%
ジグマリンゲン郡 (Landkreis Sigmaringen)	14.03%
ツォレルンアルプ郡 (Zollernalbkreis)	14.03%

(典拠) BW BTG, p.157

バーデン・ヴュルテンベルク州は、同社の監査役会に内務官僚2名、財務官僚1名を派遣し、議長は内務官僚が務める。([表6] 参照)

[表6] 州立ホーエンツォレルン鉄道株式会社の監査役会構成

監査役会議長 次官ドルフ・ケベルレ (Staatssekretär Rudolf Köberle MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
監査役会副議長 郡長ディルク・ゲルテ (Landrat Dirk Gaerte)	ジグマリンゲン郡 (Landkreis Sigmaringen)
工学士カールハインツ・ヒレンブランド博士 (Dr. Dipl.-Ing. Karlheinz Hillenbrand)	ケール港湾管理機構 (Hafenverwaltung Kehl)
ゲロルト・カルクス (Gerold Karks)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
本省参事官ヴァルター・コルトユス (Ministerialrat Walter Kortus)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
クサーファー・マイヒレ (Xaver Maichle)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)

本省部長ユルゲン・ペッツォルト教授 (Ministerialdirigent Prof. Dr. Jürgen Pätzold)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
郡長ギュンター＝マルティン・パウリ (Landrat Günther-Martin Pauli MdL)	ツォレルンアルプ郡 (Zollernalbkreis)
オスカー・ラウザー (Oskar Rauser)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)

(典拠) BW BTG, P. 159-160

2-1-4. 西南ドイツ交通株式会社

西南ドイツ交通株式会社は、資本金520万ユーロすべてをバーデン・ヴュルテンベルク州が出資し、旅客・貨物輸送、旅行代理店、運送業、倉庫業を営む株式会社である。^{xii}

とくにバーデン・ヴュルテンベルク州西南部における公共旅客輸送 (ÖPNV) にあつては、南部のヴァイル・アム・ライン (Weil am Rhein)、レルラッハ (Lörrach) から北東部のパート・メルгентハイム (Bad Mergentheim) に至る地域をカバーしている。^{xiii} 西南ドイツ交通株式会社は、[表7] に示した地域の交通関連企業に資本参加している。

[表7] 西南ドイツ交通株式会社の出資する子会社

持分所有者	出資比率
オルテナウ S バーン有限会社 (Ortenau-S-Bahn GmbH)	100.00%
ブライスガウ S バーン有限会社 (Breisgau-S-Bahn GmbH)	50.00%
オルテナウ地域バス有限会社 (Ortenau-Region-Bus GmbH)	80.00%
レルラッハ交通連合有限会社 (Region Verkehrsverbund Lörrach GmbH (RVL))	32.00%
オルテナウ運賃連合有限会社 (TGO-Tarifverbund Ortenau GmbH)	31.00%
バーデン・ヴュルテンベルク車両調達有限会社 (FBBW-Fahrzeuggestellung Baden-Württemberg GmbH)	20.00%

(典拠) BW BTG, P. 164

同社の監査役会構成は州内務官僚2名、州財務官僚2名、州首相府官僚1名、労働者代表2名のほか、州政府が100%出資するケール港湾管理機構からの派遣1名で構成されている。([表8] 参照)

[表8] 西南ドイツ交通株式会社の監査役会構成

監査役会議長 次官ドルフ・ケベルレ (Staatssekretär Rudolf Köberle MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
監査役会第1副議長 本省部長ユルゲン・ペッツォルト博士 (Ministerialdirigent Prof. Dr. Jürgen Pätzold)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)

監査役会第2副議長 ヘルムート・ハッケル (Helmut Hackel)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
カールハイッツ・ヒレンブランド博士 (Dr. Dipl.-Ing. Karlheinz Hillenbrand)	ケール港湾管理機構 (Hafenverwaltung Kehl)
カールハイッツ・キルプ (Karlheinz Kilb)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
本省参事官ヴァルター・コルトユス (Ministerialrat Walter Kortus)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
イオナ・マーセン (Ilona Maasen)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
本省参事官ミヒャエル・ポペ博士 (Ministerialrat Dr. Michael Pope)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)
主席参事官ハンス・ライス (Leitender Ministerialrat Hans Reiss)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)

(典拠) BW BTG, p.166-167

2-2. 空港

2-2-1. シュトゥットガルト空港有限会社 (Flughafen Stuttgart GmbH, Stuttgart)

シュトゥットガルト空港有限会社については、拙著において詳しく記したので、その後の資本関係の変化と監査役会の構成の変化にのみ触れる。^{xiv}

2008年にシュトゥットガルト市は同社に対する持分のうち、15%をバーデン・ヴュルテンベルク州に委譲した。これによって、同社の資本金5千万ユーロの持分比率はバーデン・ヴュルテンベルク州が65%、シュトゥットガルト市が15%となった。^{xv}

監査役会は、州首相府が議長、シュトゥットガルト市が第1副議長を、労働者代表が第2副議長を輩出しているほか、州首相府官僚1名、州財務官僚1名、シュトゥットガルト市市会議員2名、労働者代表3名の構成となっている。([表9] 参照)

[表9] シュトゥットガルト空港有限会社の監査役会構成

監査役会議長 大臣ヴォルフガング・ラインハルト教授 (Minister Prof.Dr. Wolfgang Reinhart MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)
監査役会第1副議長 上級市長ヴォルフガング・シュスター博士 (Oberbürgermeister Dr. Wolfgang Schuster)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
監査役会第2副議長 ルドルフ・ゾルカラ (Rudolf Sorkalla)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
ライナー・アーノルト (Rainer Arnold)	労働者代表 (Arbeitnehmer Vertreter)
本省部長ギュンター・ベンツ (Ministerialdirigent Günther Benz)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)
次官グンドルフ・フライシャー (Staatssekretär Gundolf Fleischer MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)

アンドレアス・ルドルフ (Andreas Rudolf)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
クルト・タウバー (Kurt Tauber)	労働者代表 (Arbeitnehmer-Vertreter)
市議員ロベルト・トュルナー (Stadtrat Robert Thurner)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
市議員ヘルガ・フェッター (Stadträtin Helga Vetter)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)

(典拠) BW BTG, p. 70

2-2-2. フリードリヒスハーフェン空港有限会社 (Flughafen Friedrichshafen GmbH)

ホームページで「ボーデン湖空港」(Bodensee-Airport)と謳っているフリードリヒスハーフェン空港は、ドイツ、オーストリア、スイスにまたがる地理環境を有している。^{xvi}

フリードリヒスハーフェン空港の前史は、ドイツ帝国が1913年、ツェペリン飛行船工場の近郊に飛行船港を求めたことに始まった。1915年にフリードリヒスハーフェン・レーヴェンタル飛行場 (Flugplatz Friedrichshafen-Löwental) が完成した。当初、ツェペリンのための飛行船港として機能していたが、1924年にドルニエ (Dornier) の参加によって航空機の発着機能が付加された。1928年にフリードリヒスハーフェン空港有限会社 (Flughafen Friedrichshafen GmbH) が設立された翌年、ルフトハンザ・ドイツ航空がハンブルク発、ハノーファー、フランクフルト、シュトゥットガルト経由、フリードリヒスハーフェン行きの定期便運航を開始している。

1945年にフランス空軍が同空港を占領した後、1968年から民間航空との共用を経て、1992年にフランス軍が撤退した。連邦政府とフリードリヒスハーフェン空港有限会社との長期にわたる交渉の末、1998年に後者が前者から空港敷地を買収し、現在に至っている。^{xvii}

持分所有者にウィーン空港国際資本参加マネジメント有限会社 (VIE International Beteiligungsmanagement GmbH) という記載があるように、ウィーン空港は潜在的持分所有者 (potenter Gesellschafter) であり、ウィーン便は日に3便を数えている。^{xviii}

持分所有者は、ウィーン空港関連会社、バーデン・ヴュルテンベルク州、ボーデンゼー郡、フリードリヒスハーフェン市、および地域の民間企業と商工会議所によって構成されている。([表10] 参照)

[表10] フリードリヒスハーフェン空港有限会社の持分所有関係
(資本金 2千127万2千ユーロ)

持分所有者	出資比率(%)
バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	12.44%
ドルニエ有限会社 (Dornier GmbH)	2.12%
ボーデンゼー・オーバーシュヴァーベン商工会議所 (Industrie-und Handelskammer Bodensee-Oberschwaben)	3.43%
ボーデンゼー郡 (Landkreis Bodenseekreis)	14.38%
ツェペリン飛行船製造有限会社 (Luftschiffbau-Zeppelin GmbH)	7.69%

フリードリヒスハーフェン・モーター・タービン連合有限会社 (Motoren-und Turbinen-Union Friedrichshafen GmbH)	2.12%
フリードリヒスハーフェン市 (Stadt Friedrichshafen)	14.38%
フリードリヒスハーフェン技術製作所有限会社 (Technische Werke Friedrichshafen GmbH)	8.92%
ウィーン空港国際資本参加マネジメント有限会社 (VIE International Beteiligungsmanagement GmbH)	25.12%
ZF フリードリヒスハーフェン株式会社 (ZF Friedrichshafen AG)	9.37%

(典拠) BW BTG, p.65

監査役会は、ウィーン空港およびその関連企業、シュトゥットガルト空港有限会社、市、郡および民間企業からの派遣によって構成されているが、12.44%の持分を有する州レベルからの直接的参加はみられない。([表11] 参照)

[表11] フリードリヒスハーフェン空港有限会社の監査役会構成

監査役会議長 ディーター・ホルヌク (Dieter Hornung)	元フリードリヒスハーフェン第1市長 (1. Bürgermeister Stadt Friedrichshafen a.D.)
監査役会第1副議長 クリスティアン・ドマニー (Mag. Christian Domany)	ウィーン空港株式会社代表取締役 (Vorstandsvorsitzender der Flughafen Wien AG)
監査役会第2副議長 ペーター・ヤニー教授 (Prof. Dr. Peter Jany)	ボーデンゼー・オーバーシュヴァーベン商工会議所 (IHK Bodensee-Oberschwaben)
ミヒャエル・ファツェカス博士 (Dr. Michael Fazekas)	ウィーン空港国際資本参加マネジメント有限会社 (VIE International Beteiligungsmanagement GmbH)
社長ゲオルク・フンデル教授 (Direktor Prof. Georg Fundel)	シュトゥットガルト空港有限会社 (Flughafen Stuttgart GmbH)
ハンス＝ゲオルク・ヘルター (Hans-Georg Härter)	ZF フリードリヒスハーフェン株式会社 (ZF Friedrichshafen AG)
ハンス＝ペーター・カルデンバッハ (Hans-Peter Kaldenbach)	ツェペリン飛行船製造有限会社 (Luftschiffbau Zeppelin GmbH)
州官僚ヨアヒム・クルシュヴィタ (Landesbeamter Joachim Kruschwita)	ボーデンゼー郡 (Landkreis Bodenseekreis)
アルフレッド・ミュルナー (Alfred Müllner)	フリードリヒスハーフェン技術製作所有限会社執行役員 (Geschäftsführer der Technische Werke Friedrichshafen GmbH)
ペーター・トルノウ (Peter Tornow)	元執行役員 (Geschäftsführer a.D.)

(典拠) BW BTG, p.66

2-2-3. ライン・ネッカー飛行場有限会社 (Rhein-Neckar Flugplatz GmbH, Mannheim)

マンハイム空港を所有するライン・ネッカー飛行場有限会社はマンハイム市持分参加会社が60%の持分を所有し、近隣のハイデルベルク市、ルードヴィヒスハーフェン市による出資に加えて、バーデン・ヴュルテンベルク州が資本金の4分の1に出資する。^{xix}

同社は、1925年に設立されたバーデン・プファルツ航空輸送株式会社 (Badisch-Pfälzischer Luftverkehr AG) を起源とし、同年に完成したマンハイム・ザンドホーフエン飛行場 (Flugplatz Mannheim-Sandhofen) からバーデン・バーデン、ドルトムント、フランクフルト、ハンブルク、コンスタンツ、コペンハーゲン、ミュンヘン、シュトゥットガルト、フィリンゲン、チューリッヒへ定期便が運航された。^{xx} 現在では、ツィルス航空 (Cirrus Airlines) の拠点のひとつとなっている。^{xxi}

[表12] ライン・ネッカー飛行場有限会社の持分構成
(資本金46万180ユーロ)

持分所有者	出資比率(%)
バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	25.00%
ハイデルベルク市 (Stadt Heidelberg)	6.67%
ルードヴィヒスハーフェン市 (Stadt Ludwigshafen)	8.33%
マンハイム市持分参加会社 (Stadt Mannheim Beteiligungsgesellschaft)	60.00%

(典拠) BW BTG p.71

ライン・ネッカー飛行場有限会社の監査役会構成をみると、マンハイム市関係者が過半数を占め、州からは内務官僚が参加しているにすぎない。([表13] 参照)

[表13] ライン・ネッカー飛行場有限会社の監査役会構成

監査役会議長 市長ミヒャエル・グレッツェ (Bürgermeister Michael Grötsch)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
監査役会副議長 本省参事官クリスティアネ・マイス博士 (Ministerialrätin Dr. Christiane Meis)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
市議員ラインホルト・ゲッツ (Stadtrat Reinhold Götz)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
市議員ミヒャエル・ヒンメルスバッハ (Stadtrat Michael Himmelsbach)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
工学士ペーター・ホフマン (Dipl.-Ing. Peter Hofmann)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
港湾長ローラント・ヘルナー (Hafendirektor Roland Hörner)	州立ライン・ネッカー港有限会社マンハイム (Staatliche Rhein-Neckar-Hafengesellschaft Mannheim mbH)

アンドレアス・マックス＝ヘメル (Andreas Max-Haemel)	ハイデルベルク市 (Stadt Heidelberg)
市議員イェルク・シュミット教授 (Stadtrat Prof. Dr. Jörg Schmidt)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
第一市長クリスティアン・シュペヒト (Erster Bürgermeister Christian Specht)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
市議員カルステン・ジウドメルセン (Stadtrat Carsten Südmersen)	マンハイム市 (Stadt Mannheim)
マルティン・ヴェルナー (Martin Werner)	ルードヴィヒスハーフェン市 (Stadt Ludwigshafen)

(典拠) BW BTG, p. 73

2-3. 水運

州が資本関係を有し、水運に関わる企業には、ライン・マイン・ドナウ株式会社 (Rhein-Main-Donau AG, München)、^{xxii} シュヴァーベン海運有限会社 (Reederei Schwaben GmbH, Stuttgart)、^{xxiii} ケール港湾管理局 (Hafenverwaltung Kehl, Kehl-Körperschaft des öffentlichen Rechts)、^{xxiv} 州立ライン・ネッカー港有限会社マンハイム (Staatliche Rhein-Neckar-Hafengesellschaft Mannheim mbH, Mannheim)、^{xxv} があるが、おもに電力、物的流通に関わる業態であることから、ここでは詳述を避ける。

2-4. 駐車場

バーデン・ヴュルテンベルク駐車場有限会社 (PMW-Parkraumgesellschaft Baden-Württemberg mbH, Stuttgart)

バーデン・ヴュルテンベルク駐車場有限会社は、資本金5千2百万ユーロでそのすべてをバーデン・ヴュルテンベルク州が出資している。^{xxvi} 同社は1994年に設立され、州内のおよそ50都市にある2,200軒以上の自家用車用駐車場を統一的に経営している。^{xxvii} 同社の諸目的のなかに、「経営的および技術的ノウハウの集中」(die Konzentration von betrieblichem und technischem Know-how)、自然と環境保護のための生態的交通コンセプトの支援 (die Unterstützung ökologischer Verkehrskonzepte zum Schutz von Natur und Umwelt) が挙げられている。^{xxviii}

このことを反映して、監査役のなかに、財務官僚のほかにバーデン・ヴュルテンベルク州科学・研究・芸術省局長、バーデン・ヴュルテンベルク州環境・アセスメント・自然保護機関総裁が加えられている。([表14] 参照)

[表14] バーデン・ヴュルテンベルク駐車場有限会社の監査役会構成

監査役会議長 本省部長ヴァルター・ライトボルト (Ministerialdirigent Walter Leibold)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
---	---

監査役会副議長 本省部長ハラルト・ハークマン博士 (Ministerialdirigent Dr. Harald Hagmann)	バーデン・ヴュルテンベルク州科学・研究・芸術省 (Ministerium für Wissenschaft, Forschung und Kunst Baden-Württemberg)
総裁マルガレータ・パールト (Präsidentin Margareta Barth)	バーデン・ヴュルテンベルク州環境・アセスメント・自然保護機関 (Landesanstalt für Umwelt, Messungen und Naturschutz Baden-Württemberg)
本省参事官トーマス・ケルン (Ministerialrat Thomas Kern)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
本省参事官ゲルハルト・シュナイダー (Ministerialrat Gerhalt Schneider)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)

(典拠) BW BTG, p. 53

3. メッセ

3-1. ランデスメッセ・シュトゥットガルト有限会社 (Landesmesse Stuttgart GmbH, Stuttgart)

2010年度に114万人の訪問者を迎えたシュトゥットガルト新メッセ会場は、総工費8億6百万ユーロをもって2007年10月に完成した。シュトゥットガルト空港に隣接した立地は、年間出展社の21%が外国企業であること、またバーデン・ヴュルテンベルク州に本拠を置く企業にはグローバル・プレイヤーが多数存在することと無関係ではない。メッセ会場は「世界市場へのショウウィンドウ」(Schaufenster zu den Märkte der Welt) である。^{xxix}

ランデスメッセ・シュトゥットガルト有限会社の持分所有者は州と市であるが、監査役は、州、政党、市、商工会議所によって構成されている。([表15]、[表16] 参照)

[表15] ランデスメッセ・シュトゥットガルト有限会社の「社員」(Gesellschafter)*
(資本金1千476万ユーロ)

持分所有者	出資額	持分所有比率
バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	7,380.00T ユーロ	50.00%
シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)	7,380.00T ユーロ	50.00%
シュトゥットガルト地域商工会議所 (Industrie- und Handelskammer Region Stuttgart)		議決権なし (stiller Gesellschafter)
シュトゥットガルト地域手工業会議所 (Handwerkerskammer Region Stuttgart)		議決権なし (stiller Gesellschafter)

(典拠) BW BTG, p.41et Landesmesse Stuttgart GmbH, Unternehmen-Daten und Fakten, in interrete sub: <http://www.messe-stuttgart.de/cms/unternehmen-daten.0.html>, 29.11.2011

* Gesellschafter は、通常、有限会社の持分所有者であるが、当社においては、議決権のない非持分所有者が存在することから、商法における定訳「社員」を訳語に用いた。

[表16] ランデスメッセ・シュトゥットガルト有限会社の監査役会構成

監査役会議長 州大臣エルンスト・プフィスター (Minister Ernst Pfister MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州経済省 (Wirtschaftsministerium Baden-Württemberg)
監査役会副議長 第1市長ミヒャエル・フェル (Erster Bürgermeister Michael Föll)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
ヴォルフガング・ドレクスラー (Wolfgang Drexler MdL)	社会民主党 (SPD-Fraktion)
主席参事官マルティン・エッグシュタイン (Leitender Ministerialrat Martin Eggstein)	州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)
本省次官グンドルフ・フライシェ (Staatssekretär Gundolf Fleische MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
カルル・ホルスト・クレーマー (Karl Horst Krämer)	シュトゥットガルト地域商工会議所 (IHK Region Stuttgart)
市議員ローラント・クグラー (Stadtrat Roland Kugler)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
市議員ラインハルト・レッフアー博士 (Stadtrat Dr. Reinhard Löffler MdL)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
パウル・ネメト (Paul Nemeth MdL)	キリスト教民主同盟 (CDU-Fraktion)
会頭ライナー・ライヒホルト (Präsident Rainer Reichhold)	シュトゥットガルト地域手工業会議所 (Handwerkskammer Region Stuttgart)
筆頭執行役員アンドレアス・リヒター (Hauptgeschäftsführer Andreas Richter)	シュトゥットガルト地域商工会議所 IHK (Region Stuttgart)
市議員ミニカ・ヴュスト (Stadträtin Minika Wüst)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
市議員ユルゲン・ツェーブ (Stadtrat Jürgen Zeeb)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)

(典拠) BW BTG, p. 43

なお、新メッセ会場の建設にあたって、以下に示す2つのプロジェクトカンパニーが設立された。

3-1-1. ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニー (Projektgesellschaft Neue Messe GmbH & Co. KG, Stuttgart)

ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニーの事業目的は、新たなメッセ会場を建設するために、必要な土地を買収し、メッセ会場を建設することにあつた。^{xxx}

同社に対する州の持分45%はバーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社を通じて間接的になされている。([表17] 参照) 同社の監査役会構成を [表18] に示した。

[表17] ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニーの持分構成
(資本金 2 千 5 百 56 万 4 千 5 百 90 ユーロ)

持分所有者	出資比率
バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社 (Beteiligungsgesellschaft des Landes Baden-Württemberg mbH)	45.00%
シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)	45.00%
シュトゥットガルト地域連合 (Verband Region Stuttgart)	10.00%

(典拠) BW BTG, p. 213

[表18] ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニーの監査役会構成

監査役会議長 元次官ホルスト・メアレンダー博士 (Staatssekretär a.D. Dr. Horst Mehrländer)	バーデン・ヴュルテンベルク州経済省 (Wirtschaftsministerium Baden-Württemberg)
監査役会副議長 第1市長ミヒャエル・フェル (Erster Bürgermeister Michael Föll)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
ハルトヴィヒ・バイヒェ教授 (Prof. Hartwig Beiche)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
州次官グンドルフ・フライシャー (Staatssekretär Gundolf Fleischer MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
社長ゲオルク・フンデル教授 (Direktor Prof. Georg Fundel)	シュトゥットガルト空港 (Flughafen Stuttgart)
市長マティアス・ハーン (Bürgermeister Matthias Hahn)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
トマス・キヴィット (Thomas Kiwitt)	シュトゥットガルト地域連合 (Verband Region Stuttgart)
州次官フーベルト・ヴィッカー (Staatssekretär Hubert Wicker)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)
監査役会常任顧問 (Ständiges Gastmitglied beim Aufsichtsrat) 筆頭執行役員 アンドレアス・リヒター (Hauptgeschäftsführer Andreas Richter)	シュトゥットガルト商工会議所 (Industrie- und Handelskammer Stuttgart)

(典拠) BW BTG, p. 214-215

3-1-2. ノイエ・メッセ管理有限プロジェクトカンパニー (Projektgesellschaft Neue Messe Verwaltungs-GmbH, Stuttgart)

ノイエ・メッセ管理有限プロジェクトカンパニーの目的は固有の経済活動はせず、ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニーの業務を指導することにあった。^{xxxi}

同社持分構成および監査役会の構成は、ノイエ・メッセ有限合資プロジェクトカンパニーのそれと相似的である。(〔表19〕および〔表20〕参照)

[表19] ノイエ・メッセ管理有限プロジェクトカンパニーの持分所有状況
(資本金 2 万 5 千 560 ユーロ)

持分所有者	出資比率
バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社 (Beteiligungsgesellschaft des Landes Baden-Württemberg mbH)	45.00%
シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)	45.00%
シュトゥットガルト地域連合 (Verband Region Stuttgart)	10.00%

(典拠) BW BTG, p. 216

[表20] ノイエ・メッセ管理有限プロジェクトカンパニーの監査役会構成

監査役会議長 元州次官ホルスト・メアレンダー博士 (Staatssekretär a.D. Dr. Horst Mehrländer)	バーデン・ヴュルテンベルク州経済省 (Wirtschaftsministerium Baden-Württemberg)
監査役会副議長 第1市長ミヒャエル・フェル (Erster Bürgermeister Michael Föll)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
ハルトヴィヒ・バイヒェ教授 (Prof. Hartwig Beiche)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
州次官グンドルフ・フライシャー (Staatssekretär Gundolf Fleischer MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
社長ゲオルク・フンデル教授 (Direktor Prof. Georg Fundel)	シュトゥットガルト空港有限会社 (Flughafen Stuttgart GmbH)
市長マティアス・ハーン (Bürgermeister Matthias Hahn)	シュトゥットガルト市 (Landeshauptstadt Stuttgart)
トマス・キヴィット (Thomas Kiwitt)	シュトゥットガルト地域連合 (Verband Region Stuttgart)
州次官フーベルト・ヴィッカー (Staatssekretär Hubert Wicker)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)
監査役会常任顧問 (Ständiges Gastmitglied beim Aufsichtsrat) 筆頭執行役員アンドレアス・リヒター (Hauptgeschäftsführer Andreas Richter)	シュトゥットガルト商工会議所 (Industrie- und Handelskammer Stuttgart)

(典拠) BW BTG, p. 217-218

4. 庭園

4-1. ルドヴィヒスブルク花咲くバロック庭園展示有限会社 (Blühendes Barock Gartenschau Ludwigsburg GmbH, Ludwigsburg 以下、(有)バロック庭園と略記)

(有)バロック庭園は、「バロック都市」(Barockstadt) ルドヴィヒスブルクにある宮廷 (das Ludwigsburger Residenzschloss) とその周囲に存在する「寵臣城」(Schloss Favorite) メルヘン庭園 (Märchengarten)、各種美術館・ギャラリー (Modemuseum, Keramikmuseum, Barockgalerie)

などの観光施設を運営する。^{xxxii}

同社の資本金102万4千ユーロには、バーデン・ヴュルテンベルク州とルドヴィヒスブルク市が50%ずつの等分出資をしている。^{xxxiii} 監査役会は、これを反映して、州と市の代表によって成り立っている。([表21] 参照)

[表21] (有)バロック庭園の監査役会構成

監査役会議長 上級市長ヴェルナー・シュペック (Oberbürgermeister Werner Spec)	ルドヴィヒスブルク市 (Stadt Ludwigsburg)
監査役会副議長 元本省参事官ユルゲン・シャット (Ministerialrat a.D. Jürgen Schad)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
市会議員トマス・ランク博士 (Stadtrat Dr. Thomas Lang)	ルドヴィヒスブルク市 (Stadt Ludwigsburg)
ヒューベルト・メールレ教授 (Prof. Hubert Möhrle)	
本省主席参事官ハンス・ライス (Leitender Ministerialrat Hans Reiss)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
本省参事官コルネリア・ルッペルト博士 (Ministerialrätin Dr. Cornelia Ruppert)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
市会議員アンドレアス・ザイボルト (Stadtrat Andreas Seybold)	ルドヴィヒスブルク市 (Stadt Ludwigsburg)

(典拠) BW BTG, p. 194-195

5. 博物館、美術館

バーデン・ヴュルテンベルク州は、以下に示す博物館、美術館のほか、ボンにあるドイツ連邦芸術・展示ホール有限会社 (Kunst- und Ausstellungshalle der Bundesrepublik Deutschland GmbH, Bonn) の資本金に対して2.43%の持分を有しているが、理事会 (Kuratorium) は、連邦政府、ノルトライン・ヴェストファーレン、ヘッセン、ラインラント・プファルツ州関係者によって構成されている。^{xxxiv}

5-1. ドイツ騎士団博物館有限会社 (Deutschordensmuseum Bad Mergentheim GmbH, Bad Mergentheim)

ドイツ騎士団博物館有限会社 (Deutschordensmuseum Bad Mergentheim GmbH, Bad Mergentheim) は、カール・ヨゼフ・フォン・アデルスハイム男爵 (Freiherr Carl Joseph von Adelsheim) が1864年に中世の彫刻、板絵、ファイアンス陶器、アラバスターレリーフ、大理石レリーフ、象牙細工のついた家具などをメルгентハイム市に遺贈したコレクションが起源となっている。^{xxxv}

1991年にバーデン・ヴュルテンベルク州、パート・メルгентハイム市、博物館協会、マイン・タウバー郡を出資者とする有限会社が設立され、1996年から近代的なドイツ騎士団博物館が開業

した。^{xxxvi} ドイツ騎士団博物館有限会社の持分構成を [表22] に示した。

[表22] ドイツ騎士団博物館有限会社の持分構成
(資本金409万340ユーロ)

持分所有者	持分比率(%)
バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	48.75
社団法人バート・メルгентハイム市ドイツ騎士団博物館 (Deutschordensmuseum Bad Mergentheim e.V.)	12.50
バート・メルгентハイム市 (Stadt Bad Mergentheim)	32.50
マイン・タウバー郡 (Landkreis Main-Tauber-Kreis)	6.25

(典拠) BW BTG, p. 196

[表23] ドイツ騎士団博物館有限会社の監査役会構成

議長 (Vorsitzender) 元本省参事官ユルゲン・シャット (Ministerialrat a.D. Jürgen Schad)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
副議長 (Stellv. Vorsitzender) 上級市長ローター・バルト博士 (Oberbürgermeister Dr. Lothar Barth)	バート・メルгентハイム市 (Stadt Bad Mergentheim)
ハイディ・デーグ (Heidi Deeg)	バート・メルгентハイム市 (Stadt Bad Mergentheim)
ゲルノート＝ウヴェ・ドツィアラス (Gernot-Uwe Dziallas)	社団法人バート・メルгентハイム市ドイツ騎士団博物館 (Deutschordensmuseum Bad Mergentheim e.V.)
郡長ラインハルト・フランク (Landrat Reinhard Frank)	マイン・タウバー郡 (Main-Tauber-Kreis)
県局長シュテフェン・ラツェル (Regierungsdirektor Steffen Ratzel)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
ディーター・ザルヒ博士 (Prof. Dr. Dieter Salch)	弁護士兼税理士 (Rechtsanwalt und Steuerberater)
県局長ヨハン・トイベル (Regierungsdirektor Johann Täubel)	バーデン・ヴュルテンベルク州科学・研究・芸術省 (Ministerium für Wissenschaft, Forschung und Kunst Baden-Württemberg)

(典拠) BW BTG, p. 197-198

5-2. 軍事史博物館 (Wehrgeschichtliches Museum Rastatt GmbH, Rastatt)

軍事史博物館は、1934年カールスルーエに設立されたバーデン軍隊博物館 (Badisches Armeemuseum) を起源とし、1956年にラシュタット城 (Schloss Rastatt) に居を移した。独仏史にも関わる西南ドイツの軍事史に関する展示に重点が置かれている。^{xxxvii}

これを経営する軍事史博物館有限会社の持分所有者は [表24] のようになっている。また、同社に対しては毎年、バーデン・ヴュルテンベルク州から年額22万ユーロの補助金が支給されてい

る。^{xxxviii}

[表24] 軍事史博物館有限会社の持分構成
(資本金) 2千610万ユーロ

バーデン・ヴュルテンベルク州 (Land Baden-Württemberg)	33.33%
ラシュタット市 (Stadt Rastatt)	33.33%
(社)ラシュタット城軍事史博物館愛好家協会 (Vereinigung der Freunde des Wehrgeschichtlichen Museums Schloß Rastatt e.V.)	33.33%

(典拠) BW BTG, p. 226

6. 温泉および付属施設

6-1. カジノ

6-1-1. バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ有限合資会社 (Baden-Württembergische Spielbanken GmbH & Co. KG, Baden-Baden)

バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ有限合資会社は資本金260万ユーロすべてバーデン・ヴュルテンベルク州が出資し、バーデン・バーデン、コンスタンツ、シュトゥットガルトにある公営カジノを運営している。^{xxxix}

執行機能は、バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ・マネジメント有限会社 (Baden-Württembergische Spielbanken Managementgesellschaft mbH, Baden-Baden) によって行われている。^{xi}

シュトゥットガルト・カジノ有限合資会社 (Die Spielbank Stuttgart GmbH & C. KG) は、2002年、バーデン・バーデン、コンスタンツにおけるカジノ営業権を獲得し、バーデン・ヴュルテンベルク州に存在するすべてのカジノが2003年に設立された新会社、バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ有限合資会社 (Baden-Württembergische Spielbanken GmbH & Co. KG, Baden-Baden) のもとに再編された。^{xii}

[表25] バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ有限合資会社の監査役会構成

監査役会議長 次官インゴ・ルスト (Staatssekretär Ingo Rust, MdL)	
監査役会副議長 本省部長ヴァルター・ライボルト (Ministerialdirigent Walter Leibold)	財務省 (Finanzministerium)
カール・エップレ博士 (Dr. Karl Epple)	バーデン・ヴュルテンベルク州立信用銀行 (Landeskreditbank Baden-Württemberg)
本省部長 (Ministerialdirigent) ラインハルト・クレー博士 (Dr. Reinhard Klee)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
本省参事官ミヒャエル・クライナー (Ministerialrat Michael Kleiner)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)

カールハイッツ・ヒレンブランド博士 (Dr. Karlheinz Hillenbrand)	バーデン・ヴュルテンベルク湯治場・保養所管理公社 (BKV Baden-Baden)
---	--

Baden-Württembergische Spielbanken GmbH & Co. KG, BW Spielbanken in interrete sub: <http://www.bw-casinos.de/de/bw-spielbanken.html>, 27.10.2011

バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ有限合資会社の子会社は、同社が100%出資するバーデン・ヴュルテンベルク・カジノ・レストランサービス有限会社 (Baden-Württembergische Spielbanken Gastro-Service GmbH)、および20%出資するバーデン・バーデン・マーケティング有限会社 (Baden-Baden Marketing Gesellschaft für Kur, Tourismus und Stadtentwicklung mbH) である。^{xiii}

すでに指摘したように、バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ・マネジメント有限会社の資本金5万2千ユーロはすべて、バーデン・ヴュルテンベルク州持分参加有限会社によって担われている。

[表26] バーデン・ヴュルテンベルク・カジノ・マネジメント有限会社の監査役会構成

監査役会議長 元局長マンフレット・ケーニヒ博士 (Ministerialdirektorin a.D. Dr. Manfred König)	
監査役会副議長 本省部長ヴァルター・ライボルト (Ministerialdirigent Walter Leibold)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
銀行取締役カール・エップレ博士 (Bankvorstand Dr. Karl Epple)	バーデン・ヴュルテンベルク州立振興銀行 (Landeskreditbank Baden-Württemberg-Förderbank)
カールハイッツ・ヒレンブランド博士 Dr. (Dipl.-ing. Karlheinz Hillenbrand)	バーデン・ヴュルテンベルク湯治場・保養所管理公社 (BKV-Bäder-und Kurverwaltung Baden-Württemberg)
本省部長ラインハルト・クレー (Ministerialdirigent Reinhard Klee)	バーデン・ヴュルテンベルク州内務省 (Innenministerium Baden-Württemberg)
本省参事官ゲオルク・ヴァルヒ博士 (Ministerialrat Dr. Georg Walch)	バーデン・ヴュルテンベルク州首相府 (Staatsministerium Baden-Württemberg)

(典拠) BW BTG, p. 78

6-2. 温泉

6-2-1. バーデン・ヴュルテンベルク湯治場・保養所管理公社 (BKV-Bäder-und Kurverwaltung Baden-Württemberg)

バーデン・ヴュルテンベルク湯治場・保養所管理公社は、基本金 (Festges. Kapital) 5億2千万ユーロの全てをバーデン・ヴュルテンベルク州が出資している。^{xiii}

同公社は、バーデン・バーデンに存在するバーデン・ヴュルテンベルク州所有の不動産である温泉と保養所を管理する。^{xiv}

さらに同公社は、バート・アイルバート、バーデンヴァイラー、バート・メルгентハイムに存在する温泉関係の有限会社に対して持分を有する。([表27] 参照)

[表27] バーデン・ヴュルテンベルク湯治場・保養所管理公社の子会社に対する出資

持分所有者	持分比率	2008年における州補助金 (Landeszuschuss) ユーロ
州営ヴィルトバウ温泉保養有限会社 (Staatsbad Wildbau-Bäder-und Kurbetriebsgesellschaft mbH, Bad Ailbad)	100%	2,046,000
バーデンヴァイラー温泉観光有限会社 (Badenweiler Thermen und Touristik GmbH, Badenweiler)	25.10%	732,900
バート・メルгентハイム保養管理有限会社 (Kurverwaltung Bad Mergentheim GmbH, Bad Mergentheim)	33.33%	920,000

(典拠) BW BTG, p. 14

[表28] バーデン・ヴュルテンベルク湯治場・保養所管理公社監査委員会構成
議決権所有者 (Stimmberechtigte Mitglieder)

議長 Vorsitzender 州次官グンドルフ・フライシャー (Staatssekretär Gundolf Fleischer MdL)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
副議長 Stellv. Vorsitzender ヴェルナー・ブルンス博士 Dr. Werner Bruns	バーデン・ヴュルテンベルク州経済省 (Wirtschaftsministerium Baden-Württemberg)
本省部長トマス・クネドラー (Ministerialdirigent Thomas Knödler)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
本省参事官ヴァルター・コルトユス (Ministerialrat Walter Kortus)	バーデン・ヴュルテンベルク州財務省 (Finanzministerium Baden-Württemberg)
県知事ルドルフ・キューナー博士 (Regierungspräsident Dr. Rudolf Kühner)	カールスルーエ県 (Regierungspräsidium Karlsruhe)

相談役 (Beratende Mitglieder)

上級市長ヴォルフガング・ゲルストナー (Oberbürgermeister Wolfgang Gerstner)	バーデン・バーデン市 (Stadt Baden-Baden)
市会議員ヨアヒム・クネプフェル (Stadtrat Joachim Knöpfel)	バーデン・バーデン市 (Stadt Baden-Baden)
市会議員ウルズラ・ラツァルス (Stadträtin Ursula Lazarus MdL)	バーデン・バーデン市 (Stadt Baden-Baden)

(典拠) BW BTG, p. 15-16

7. その他

シュトゥットガルト市は、2012年オリンピックを同市に誘致するための企業体、シュトゥットガルト2012年有限会社 (Stuttgart2012 GmbH i.L., Stuttgart) を設置していた。シュトゥットガルト市は国内選考において、最初にオリンピック候補地から外れ監査役会は2007年に解散した。同社の資本金は30万ユーロで、バーデン・ヴュルテンベルク州、シュトゥットガルト市、シュトゥットガルト地域連合が33.33%ずつ出資していた。^{xv}

[小括]

バーデン・ヴュルテンベルク州内に存在する観光インフラストラクチャーは、州政府、地元自治体、地元企業、地元商工会議所による出資および監査役の派遣によって成り立っている。

都市による民間企業群の設置・経営活動をもって「コンツェルン都市」概念が提起されていることになぞらえ、州によるそれをもって「コンツェルン州」(Konzernstaat もしくは Konzernland) 概念を提起したい。

その際、コンツェルン州とコンツェルン都市は多くの企業体において接点を持ち、地域の官民一体を基盤とする「地域経済」が形成されていることに注目したい。

- i Finanzministerium Baden-Württemberg, *Beteiligungsbericht 2009 des Landes Baden-Württemberg* (以下 BW BTG と略記), p.8
- ii コンツェルン都市については、拙稿「コンツェルン都市ミュンヘンと観光事業」跡見学園女子大学『マネジメント学部紀要』第10号、2010年、48～49ページおよび拙稿「コンツェルン都市ニュルンベルクと観光インフラストラクチャー」跡見学園女子大学『マネジメント学部紀要』第11号、2011年、63～83ページ参照。
- iii BW BTG, p.191
- iv Rothaus, Geschichte, in interrete sub : <http://rothaus.de/de/geschichte>, 01.09.2011
- v Baden-Württembergische Spielbanken GmbH & Co. KG, Baden-Württembergische Spielbanken, in interrete sub : <http://www.bw-casinos.de/de/bw-spielbanken.html>, 17.09.2011
- vi Staatliche Toto-Lotto GmbH, *Geschäftsbericht 2009*, p.52 同社の監査役は2010年3月の改選によって、議長は Staatssekretär Dr. Stefan Scheffold, MdL、副議長は Ministerialdirektor Dr. Hans Freudenberg、その他の監査役は Gundolf Fleischer, MdL, Staatssekretär a.D., Ministerin Prof.Dr. Marion Schick, Alfred Haas となった。(Staatliche Toto-Lotto GmbH, *Geschäftsbericht 2009*, p.54)
- vii BW BTG, p.48
- viii Baden-Württemberg-der 3-Löwen-Takt, wir ueben uns, in interrete sub : <http://www.3-loewen-takt.de/wir-ueber-uns/nvbw/>, 17.09.2011
- ix VVS, Ueber VVS, in interrete sub : <http://www.vvs.de/vvs/>, 20.09.2011
資本金24万8千ユーロのうち、バーデン・ヴュルテンベルク州の持分は7.5%であり、大口の出資者はシュトゥットガルト路面電車株式会社、シュトゥットガルト地域連合、ドイツ鉄道株式会社である。[表3]において、「その他の持分」が27.50%と記されているが、参加する交通企業はおよそ40社に上る。(VVS, Verkehrsunternehmen, in interrete sub : <http://www.vvs.de/vvs/partnerdesvvs/verkehrsunternehmen/>, 20.09.2011)et VVS, Presse-Ueber den VVS, in interrete sub : <http://www.vvs.de/presse/ueber-den-vvs/>, 20.09.2011)
- x 同社の歴史については Zeiger, G., *100 Jahre HzL : Geschichte der Hohenzollerischen Landesbahn AG 1899-1999*, Hechingen, 1999参照。
- xi Hohenzollerische Landesbahn AG, Zahlen & Fakten, in interrete sub : http://www.hzl-online.de/html/vorlagen/zahlen_fakten_961.html, 21.09.2011 同社のバス路線の歴史については Zeiger, G. et Lutz, J., *50 Jahre Omnibusverkehr/Hohenzollerische Landesbahn AG*, Hechingen, 1997が詳しい。
- xii BW BTG, p.164
- xiii SWEG Südwestdeutsche Verkehrs-AG, Wir ueben uns, in interrete sub : http://www.sweg.de/html/vorlagen/wir_ueber_uns.html, 22.09.2011

SWEGには11社の交通事業者が含まれ、(SWEG Südwestdeutsche Verkehrs-AG, Wir üben uns, in interrete sub: http://www.sweg.de/html/vorlagen/wir_ueber_uns.html, 22.09.2011) 104kmに達する軌道交通は、プライスガウ＝カイザーシュトゥール交通企業体 Verkehrsbetrieb Breisgau-Kaiserstuhl)、プライスガウ＝シュタウフェン交通企業体 (Verkehrsbetrieb Breisgau-Staufen)、オルテナウ地域鉄道企業体 (Verkehrsbetrieb Regionalbahnen Ortenau)、オルテナウ・ツェル交通企業体 (Verkehrsbetrieb Regionalbahn Oretenau Zell)、ミッテルバーデン＝シュヴァルツアッハ交通企業体 (Verkehrsbetrieb Mittelbaden-Schwarzach)、シュヴァルツバッハタル交通企業体 (Betriebsbetrieb Schwarzbachtal) の区間におよんでいる。(SWEG Südwestdeutsche Verkehrs-AG, Infrastruktur, in interrete sub: <http://www.sweg.de/html/vorlagen/infrastruktur.html>, 22.09.2011)

xiv 拙著『ドイツ資本主義と空港』日本経済評論社、2009年、251～261ページ

xv BW BTG, p.68

xvi Flughafen Friedrichshafen GmbH, Unternehmenportrait, in interrete sub: <http://www.fly-away.de/unternehmen-flughafen/portrait/>, 22.09.2011

xvii Flughafen Friedrichshafen GmbH, Chronik, in interrete sub: <http://www.fly-away.de/de/unternehmen-flughafen/chronik/>, 22.09.2011

xviii Flughafen Friedrichshafen GmbH, Unternehmenportrait, in interrete sub: <http://www.fly-away.de/unternehmen-flughafen/portrait/>, 22.09.2011

xix マンハイム空港 (City Airport Mannheim) については拙著『ドイツ資本主義と空港』日本経済評論社、2009年、188～191ページ参照。

xx City Airport Mannheim, Historie, in interrete sub: http://flugplatz-mannheim.de/Ueber_uns/Historie.html, 29.09.2011

xxi City Airport Mannheim, Linienfluege, in interrete sub: <http://flugplatz-mannheim.de/Information/Linienfluege.html>, 29.09.2011

ツィルス航空の表記はルフトハンザ・日本語ウェブサイトではシーラスエアラインズと英語表記を採用している。(ルフトハンザ・ドイツ航空、「コードシェア」, in interrete sub: <http://www.ana.co.jp/int/air-info/codeshare/lh.html>, 27.10.2011)

xxii 同社に対するバーデン・ヴュルテンベルク州の株式所有比率は、0.01%にすぎない。(Finanzministerium Baden-Württemberg, *Beteiligungsbericht 2009 des Landes Baden-Württemberg*, p.63) ライン・マイン・ドナウ株式会社については、渡辺 尚「ライン＝マイン＝ドナウ株式会社の成立と活動：連邦制度の下での「公益団体」」『経営史学』31(1), 1996 および同「ライン＝マイン＝ドナウ諸契約」『経済論叢別冊 調査と研究』1995参照。

xxiii 同社に対しては、バーデン・ヴュルテンベルク州財団有限会社 (Landesstiftung Baden-Württemberg GmbH)を通じて、州政府は間接的に44%の持分を有し、監査役会には議長 Ministerialdirigent Walter Leibold が財務省から派遣されている他、監査役として Ministerialdirigent Reiner Moser (財務省)、Ministerialdirigent Prof. Dr. Jürgen Pätzold (内務省) が参加している。(BW BTG p.163)

xxiv 同機構は、州政府が100%出資し、監査委員会 (Verwaltungsrat) には、財務省から議長、Staatssekretär Gundolf Fleischer MdL、内務省から副議長、Ministerialdirigent Pro.Dr. Jürgen Pätzold が派遣されている他、役員として Ministerialdirigent Heinz-Rüdiger Fliege (財務省)、Leitender Ministerialrat Norbert Schmitt (財務省) が加わっている。(BW BTG, p.88)

xxv 同社は州政府が100%出資し、監査役会には財務省から議長、Staatssekretär Gundolf Fleischer MdL、内務省から副議長、Ministerialdirektor Rainer Arnold、その他の監査役として、Ministerialratin Dr. Cornelia

- Ruppert (財務省)、Ministerialrat Gerhart Schneider (財務省)、Ministerialrat Dr. Georg Walch (首相府)が参画している。(BW BTG, p.91)
- xxvi BW BTG, p.51
- xxvii Parkraumgesellschaft Baden-Württemberg mbH, Unternehmen, in interrete sub : <http://www.pbw.de/index.php?l1=20&PHPSESSID=d8147b0f897a46405ba560d2e45742fa>, 24.10.2011
- xxviii Parkraumgesellschaft Baden-Württemberg mbH, Unternehmen, in interrete sub : <http://www.pbw.de/index.php?l1=20&PHPSESSID=d8147b0f897a46405ba560d2e45742fa>, 24.10.2011
- xxix Landesmesse Stuttgart GmbH, Unternehmen-Portrait, in interrete sub : <http://www.messe-stuttgart.de/cms/unternehmen-wir-ueber-uns-neuemesse.0.html>, 29.11.2011 et Landesmesse Stuttgart GmbH, Unternehmen-Daten und Fakten, in interrete sub : <http://www.messe-stuttgart.de/cms/unternehmen-daten.0.html>, 29.11.2011 2007年までの50年間利用されてきた旧メッセ会場 (Messegelände Killesberg) は、拡張が困難であることや交通渋滞の問題などを理由に廃止された。(ibid.)
- xxx BW BTG, p.213
- xxxi “Die Gesellschaft entwickelt keine eigenen wirtschaftlichen Aktivitäten. Sie führt die Geschäft der Projektgesellschaft Neue Messe GmbH & Co.KG.” (BW BTG, p.217)
- xxxii Ludwigsburg, Sehenswürdigkeiten, in interrete sub : http://www.ludwigsburg.de/servlet/PB/menu/1237547_11/index.html, 12.12.2011, Ludwigsburg, BLÜHENDES BAROCK, in interrete sub : http://www.ludwigsburg.de/servlet/PB/menu/1237553_11/index.html, 12.12.2011, Ludwigsburg, Märchengarten, in interrete sub : http://www.ludwigsburg.de/servlet/PB/menu/1237552_11/index.html, 12.12.2011 et Blühendes Barock Gartenschau Ludwigsburg GmbH, Öffnungszeiten, Führung und Preise, in interrete sub : http://www.ludwigsburg.de/servlet/PB/menu/1237552_11/index.html, 12.12.2011
- xxxiii BW BTG, p.194
- xxxiv BW BTG, p.204
- xxxv Deutsche Ordensmuseum, Adelsheim'sche Altertumssammlung, in interrete sub : <http://www.deutschordensmuseum.de/index.cfm?fuseaction=museum&rubrik=adelsheimsche-sammlung>, 13.12.2011
- xxxvi Deutsche Ordensmuseum Bad Mergentheim GmbH, Geschichte des Museums, in interrete sub : <http://www.deutschordensmuseum.de/index.cfm?fuseaction=museum&rubrik=museumsgeschichte>, 13.12.2011
- xxxvii Wehrgeschichtliches Museum Rastatt GmbH, Das Museum, in interrete sub : <http://www.wgm-rastatt.de/>, 27.10.2011 et Wehrgeschichtliches Museum Rastatt GmbH, Foederverein, in interrete sub : <http://www.wgm-rastatt.de/foederverein/>, 27.10.2011
- xxxviii BW BTG, p.227
- xxxix BW BTG, p.74
- xl BW BTG, p.77
- xli Baden-Württembergische Spielbanken GmbH & Co. KG, BW Spielbanken in interrete sub : <http://www.bw-casinos.de/de/bw-spielbanken.html>, 27.10.2011
- xlii BW BTG, p.74
- xliii BW BTG, p.14
- xliv Das Kurhaus Casino, Unternehmen, in interrete sub : <http://www.kurhauscasino.de/de/das-unternehmen>, 21.12.2011
- xlv BW BTG, p.219-220